

神奈川県立あおば支援学校における学校運営協議会開催結果

本校の学校運営協議会を下記のとおり開催した。

審議会等名称	令和5年度 神奈川県立あおば支援学校第1回運営協議会		
開催日時	令和5年5月8日(月) 午前9時30分～午前11時30分		
開催場所	校長室		
出席者	委員：13名 事務局：7名		
次回開催予定日	令和5年8月25日(金) 午前13時30分～午前16時30分		
問い合わせ先	神奈川県立あおば支援学校 副校長 佐藤 浩栄 電話番号 045-978-1161 ファックス番号 045-978-1160		
下欄に掲載するもの	議事録	議事概要とした理由	
審議(会議)経過	<p>1 開会</p> <p>2 学校長挨拶</p> <p>3 委員委嘱</p> <p>4 会長・副会長選出</p> <p>5 会長・副会長あいさつ</p> <p>6 議 事</p> <p>(1) 令和5年度学校運営方針について</p> <p>○令和5年度学校運営方針について(校長より)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会運営計画書について(別紙資料より) ・学校評価報告(別紙資料より要点を) <p>A：学校以外の組織の中で教員が発表する場がある良い。それによって子どもたちの理解につながる。</p> <p>校長：今年度校内研究の発表の場がある。公開研究会1月24日予定している。</p> <p>B：昨年度大学の生徒が参加し、授業を参観させてもらい、とても良かった。神奈川のインクルーシブ教育と特別支援学校の取り組みについて学生もいろいろ考えられて良かった。</p> <p>校長) ボランティアなどで是非参加してもらいたい。</p> <p>C：スポーツフェスタにも学生一緒に参加させたい。</p> <p>校長：あおばフェスタについては、これまで外部の参加をこれまで行っていないので、今後検討していきたい。</p> <p>D：あおばフェスタもボランティアを募集する予定でいる。</p>		

E：コロナで行事ができなかった分、行事が縮小されて、その分子どもに向き合う時間ができた。徐々にコロナが明けてきて、行事も増え、教員が疲れてきている印象がある。また、教員が今後生徒に向き合う時間が割けなくなってくることを懸念している。教員不足の中、どのように考えていけばよいのか。

校長：行事や会議などはできるだけ必要最低限にしていけるとよいと考えている。また、ボランティアを活用することで、負担が軽減されるので、一つの手がかりかと思っている。

F：学校は、デジタル化が遅れている。そのあたりが進んでいくことが、働き方改革につながっていく。業務の標準化、引き継げるものは業務内容を残してデジタル化していけるといい。学校が何をしているかが、外から見て分からない。それが分かると業務内容が減らせるのではないか。

G：コロナが明けて、いままでの学校行事などを元に戻す必要はないと思う。昔あったことを戻すのは危険である。それを精選するのも学校運営協議会でできると思う。チャンスなので、戻す努力ではなく、疑問を呈する努力をしていけるといい。

H：時間になったら帰ることも大事だが、雑談する時間も大事である。

I：企業だと情報が資料で伝達されて業務が整理されているが、学校だと勿体ない時間があると聞く。学校文化を変えるチャンスだと思う。2回目の熟議で意見を出していけるといい。

校長：やる気があって仕事しているのに、やる気をそぐ言葉かけをするのではなく、尊重していけるといい。

J：学校行事については開校前から準備に時間をかける負担を考えていた。地域の力を借りて行事を担ってもらい、教員は授業にかける時間を作ってほしいと思っていた。あおばフェスタ、スポーツフェスタをそのような形に移行していけるといい。お互いに他の教員がどんな仕事しているのかわからない。業務分担表の整理も引き続き進めてもらいたい。

K：そのためにも地域との連携が必要になってくる。地域として何ができるのかを考えて行けるといい。

L：学校運営協議会と地域学校協働活動の役割の整理するにあたり、どこが取り組んでいけばよいのか。

M：この学校運営協議会の中で進めていけるといい。部会で意見を出してもらいまとめて運営協議会に出して検討していけるといい。

	<p>い。</p> <p>N：ぼんやりしていた物が形になってきた。今年度から同窓会も始まっている。組織としてどういった活動をしているのかをきちんと整えて示していく必要がある。誰が会長をやるのか、組織図、規約、会計などを固めていきたい。</p> <p>O：ファンドのことも含め、詳細を分かりやすくして今後提示していけると良い。大人も楽しみながら運営していけるといい。</p> <p>P：活動の中心に保護者も入って活発にしていけると良い。</p> <p>Q：規約などを決めていかないと銀行の口座も作れない。その辺りも含めてこの場でご検当いただけると良い。</p> <p>R：例えば、学校運営協議会が決定機関で、協働本部が執行機関のような組織など、どういう形がいいのかを考えていけると良い。</p> <p>S：学校運営協議会は学校を作っていく組織なので、地域とつなげる部分は「あおばまる」など、組織図を作っていけるといい。</p> <p>T：今までの大変だった部分を見つめ直してそれをデータを取って仮説的に取り組んで、随時修正していけるとよい。</p> <p>U：汎用性のある規約にして、細則的なものはまた考えていけるといい。</p> <p>V：HP も作っているが、まだ教職員、保護者にも周知しきれていない。何なのかぼんやりしている部分がある。</p> <p>W：下部組織とすると、すごく動きづらくなる。連携組織として独立して運営していける方がいい。</p> <p>X：その方向でこの場でご理解いただければ、今後プロジェクトチームとして部会をおこなっていけるといい。</p> <p>Y：個別に対する教育が充実していて安心して預けることができている。心配することがない位手厚くしてもらっている。毎日の連絡帳、先生方は全員分記入する。とても詳しく。親としては嬉しいが、それがどれくらい負担になっているか気になっていた。仕事のスリム化という点では情報を伝える方法の検討はしてもいいのかと思う。</p> <p>校長) 熟議にも保護者に来ていただき、そのような意見をいただきたい。連絡帳をどのように活用していくかが今後の課題でもある。</p> <p>Z：毎年子どもの数が増えている中で、連絡帳を全員記入している。スリム化することで、もっと先生と子どもの時間を作ること</p>
--	--

ができるのでは。パソコンの活用など、もう少し利便性のある方法があってもよい。

A：あゆみを使用している学校がある。学期ごとに書かれている。誤字がないかダブルチェックをしたり、面談期間と重なったりして負担感があるという教員の意見もある。

B：学校とメールを使用した情報のやり取りをしている。連絡帳だと子どもの目に触れることもあるため、メールでのやり取りで助かることもある。子どもの気持ち（思春期）にも対応できる。

C：ぜひ熟議で話せたらいい。

D：教育と福祉とでは人の配置数が異なるので人がとられてしまうと必要なプログラムがこなせない。それぞれの立場から意見を出して考えとよい。

E：施設（放デイ）によっては写真と一言だけのところもあり、それだけでも安心する。

F：子どもの学びに必要であることを説明して検討していくと良い。

（2）地域連携について

○学校開放事業について

校長：ほぼ毎週土日の開放はできている。今後は平日の開放を進めていくため、ニーズ確認中である。一番は卒業生の居場所作りの提供を目指す。開放の運営委員会でも承諾してもらい、進めている。週2回以上の開放は予算的に難しい。

A：放課後の活動は貴重で、週1でもありがたい。

校長：土日にも開放できたらと思う。ただ他の団体との調整が必要である。

B：ニーズのリサーチをしながら進め方を検討する。

校長）やってくれる団体がどれくらいあるか。

（3）不祥事防止ゼロプログラムについて（副校長）

これからホームページ にアップする。

（4）学校予算について（事務長）

7 まとめ（校長）

今年一年の流れが見えてきた。

プロジェクトと2回目の学校運営協議会（熟議）に向けて進めていきたい。